



今回はアメリカ・シアトルの航空博物館。1965年設立、世界最大の民間航空宇宙博物館とのこと。シアタック空港（シアトル・タコマ空港）からシアトル市街中心に向かうほぼ中間点に、大きな空港（ボーイング・フィールド空港）がありますが、ここがボーイング社の創業（1916年）の地で、その一面に航空博物館があります。グレートギャラリーには、様々な時代の航空機（操縦席に座ることができるものもある）、多数の模型やパネルで、航空機の進化と使われ方（戦争も含む）が展示されています。隣にボーイング社創業時に建設された赤い木造社屋も保存されていて、その中でボーイング社の歴史、第2次世界大戦時の爆撃機 B-29 関連の展示や昔の工具が見られます。スカイブリッジ（歩道橋）を渡ったウエストキャンパスにはスペースシャトルの実物大シミュレーター等の宇宙関連、そしてその屋外にはエアフォースワン（大統領専用機）等も展示されていました（最近、屋根が架けられたようです）。



Stearman PT-13A Kaydet



M-21 Blackbird



コックピットに座れる



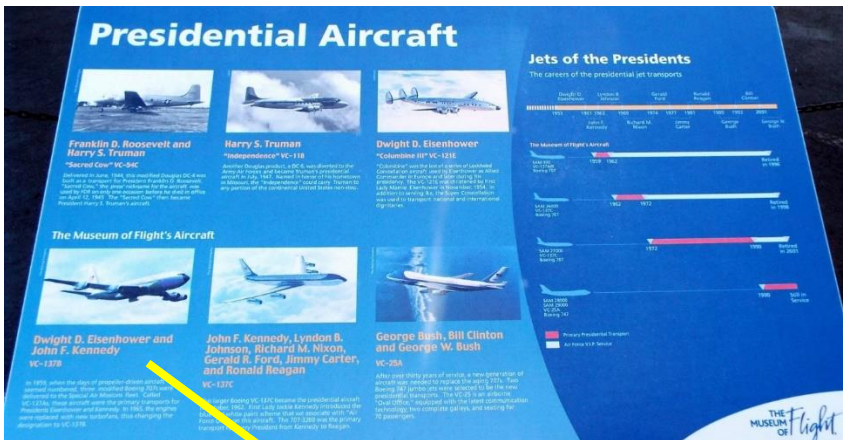
第 2 次世界大戦途中の勢力地図



各時代・各国の戦闘機がある。隼も



ボーイング社創業当時の木造社屋



Boeing VC-137B

エアフォースワン (大統領専用機) で最初のジェット機。

1959年から1966年まで、大統領や副大統領の他、VIPを運んだとのこと。機内も見学可能。



2014年の入場料は\$19（65歳以上はシニア割引で\$15）でした。現在は\$25（シニア\$21）に改定され、毎月第1木曜日17時以降は無料、ボーイング社員や現役・退役軍人等への割引もあるようです（3/12からコロナ休業中）。

シアトルといえば、シアトルマリナーズのホームグラウンド・T-Mobile・パークがあります。鋼鉄製開閉式屋根（重さ約11,000t）付で、開閉には20分位掛かるとのことです。またダウンタウンのパイク・プレイスマーケットに、スターバックスコーヒー第1号店（1971年開業）があります。ギリシャ神話のセイレーン（2つの尾を持つ人魚）が描かれた、見慣れた緑のものではない創業当時のロゴが使われていました。



創業当時のロゴ



スターバックス1号店

シアトル市街地とシータック空港間の足はライトレールが便利です。各駅名の前にそれぞれ独特のマークが付いています（路線図にも入っていて、英語が読めなくても区別が付く）。街中では地下鉄になっていますが、トンネルから出てきた電車やバスが、駅と同じホームを共用していました。



<google 地図参照>

（写真撮影：2014.09.15~17）

航空博物館

<https://www.google.co.jp/maps/@47.5191879,-122.2983822,17.12z>

マリナーズスタジアム

<https://www.google.co.jp/maps/@47.5917672,-122.3352694,16.31z>

スターバックス1号店

<https://www.google.co.jp/maps/@47.610027,-122.3426211,21z>

（2020.07.01）